

相澤貞恵 校長先生

平成30年度 学校関係者評価書

3つの「重点的な取組事項」について

「自己評価書」全般について

多方面に高い目標を設定しているなか、小規模校のデメリットである人的資源の不足を校長先生のリーダーシップと教職員の積極的な取組で払拭しており、保護者や地域の方々と共に同じ方向を見て進んでいて、非常に良い状態が継続しています。

自己評価書に記載の各項目について、多くが「十分に達成」とされていることは適正であると考えます。

「学力の向上」

基礎学力について、引き続き区学力調査の通過率が上位を維持しており、更なる学力の向上に向けた教員の意欲が表れた結果です。新指導要領に基づいた授業時数を先行して行っているにもかかわらず、充実した特別活動への粘り強い指導を行っており、高く評価できます。

小中連携による研修会の実施等、指導力の向上に向けた取り組みを不断に行っており、教員のスキルアップにつながっています。

「体力の向上」

全国体力調査において、全種目・全学年の全国平均値以上という目標を達成しました。一日60分運動、朝の体力づくりの継続的な励行が、結果に結びついています。

虫歯治癒率の向上については、昨年度から向上したが、引き続き粘り強い受診勧奨を進めていただきたい。

「保護者・地域との連携協力による教育活動の充実」について

あいさつについては、引き続き高い評価を受けており、今後とも継続した取り組みを期待します。

各ボランティア、放課後子ども教室など関係するの方々との更なる良好な連携を図ることを期待します。

学校関係者としての思い

●学力、体力、その他の教育について、期待以上の成果をあげており、取り組みについて継続していただきたいと思います。また、家庭学習の定着には保護者の協力が不可欠なため粘り強い啓発を支援していきます。

●今後も先生・保護者・地域の方々とのコミュニケーションを最重視し、更なる教育活動の充実に向けて主体的に取り組んでいきたいと考えます。